

➤ 1時間でわかる臨床でしか使えない脳卒中リハビリ

アプローチに活かす 評価と動作分析とは？

① 評価の目的とは？

② 動作分析の目的と方法とは？

③ アプローチに活かす方法とは

④ 評価とアプローチの違い？

BSC college

知識と臨床を繋ぐ
脳外臨床大学校

講師：脳外臨床研究会 会長
作業療法士 山本秀一郎



食事獲得のために必要な評価とは？

アプローチとは？


アプローチとは？

アプローチとは、**対象や目標**に近づく（迫る）こと

目標に近づくために必要な行為がアプローチであり、リハビリである。

目標とは？





**必ず達成できる目標設定の立て方と
その目標が妥当か確かめる方法とは？**

患者様に必要とされるセラピストになるために

**脳外臨床研究会・大学校
作業療法士 山本秀一郎**

目標とは？



<目的> 目指す的

<目標> 目的に到達するための道標

<目的>
理想の自分への
変化・成長



1年・3年・5年前

今の自分に
満足できますか？

1年・3年・5年

未来の自分に
満足できますか？

<目標>



過去

今

未来

目標設定のPOINT

▼目標設定は、理想の自分になるための道標である

▼目標設定の目的は、理想の自分への成長である

目標設定とは？

目標達成のための最低条件とは？

理想の自分への
変化・成長



1年・3年・5年前

今の自分に
満足できますか？

1年・3年・5年

未来の自分に
満足できますか？

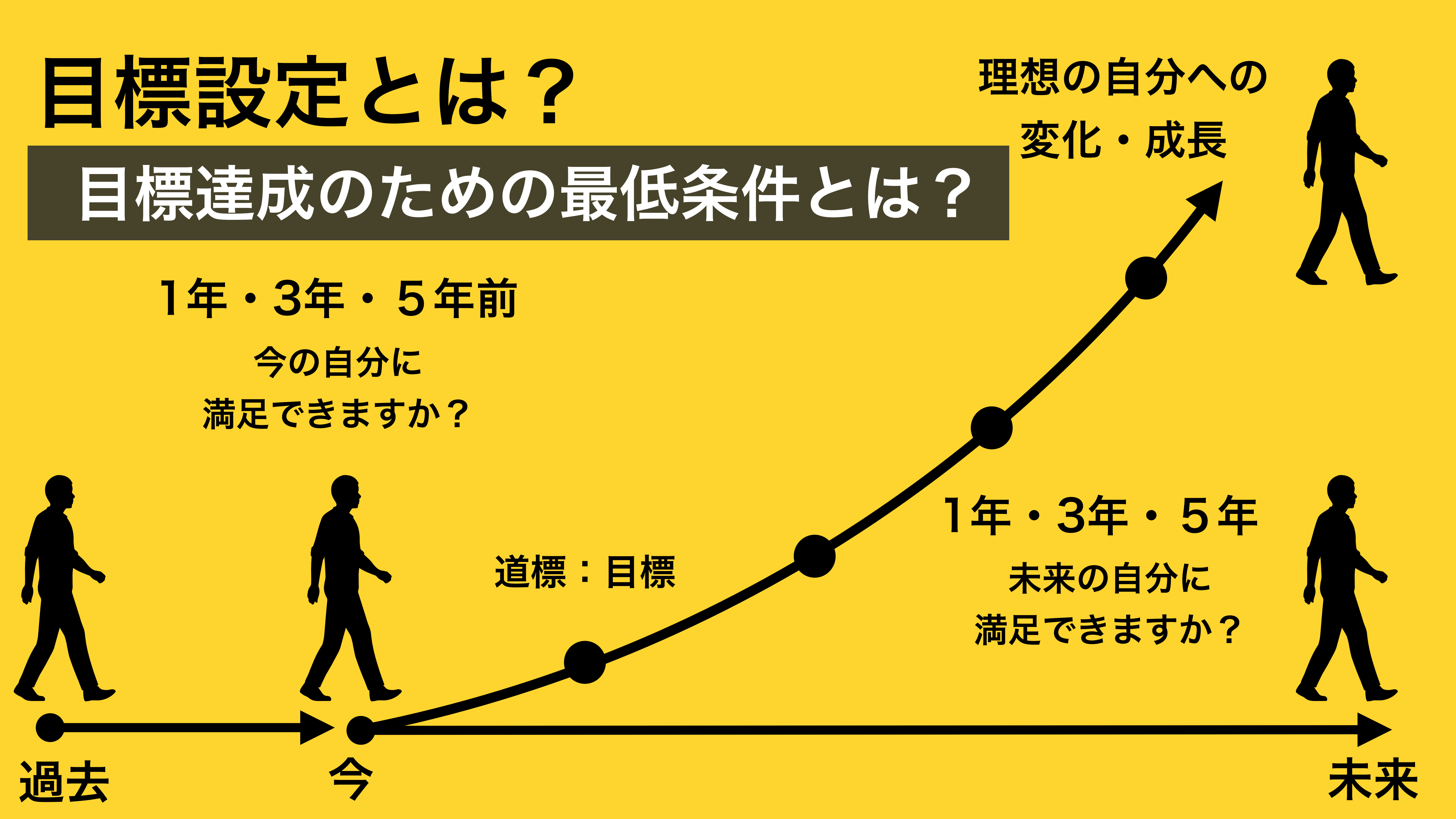
道標：目標



過去

今

未来



目標設定のPOINT

▼目標設定は、理想の自分になるための道標である

▼目標設定の目的は、理想の自分への成長である

▼目標を達成するには、行動しないといけない

行動こそアプローチである

リハビリの目的とは？

リハビリの目的とは？

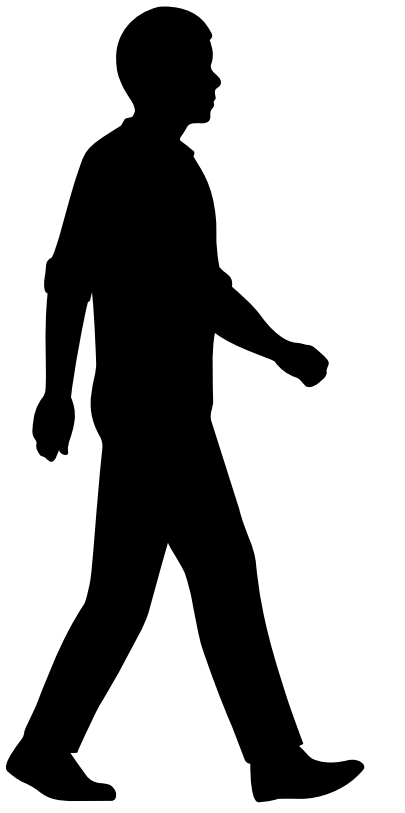
リハビリとは身体的、精神的、社会的に最も適した生活水準の達成を可能とすることによって、各人が自らの人生を変革していくことを目指し、且つ時間を限定した過程である

身体的、精神的、社会的に最も適した生活水準とは？

re (再び) + habilis (適した)、
すなわち「再び適した状態になること」などの意味を持つ
フルリカバリーを目指す!!

リハビリ的アプローチ

<目的>
再び適した状態
になること



1年・3年・5年前

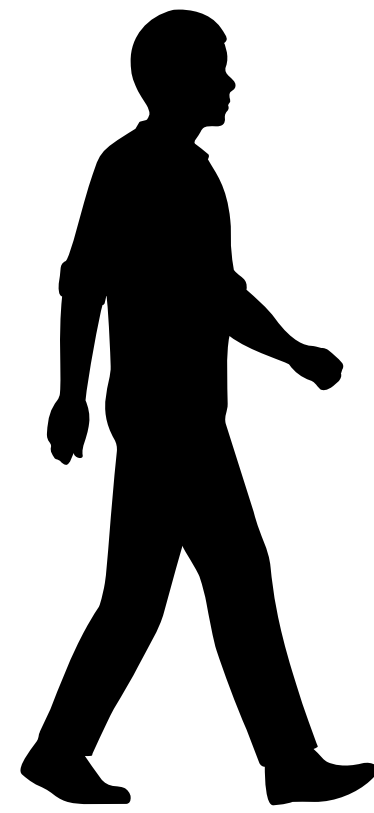
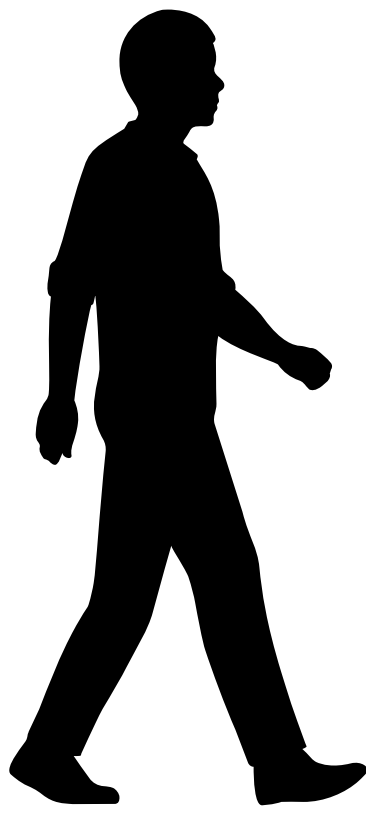
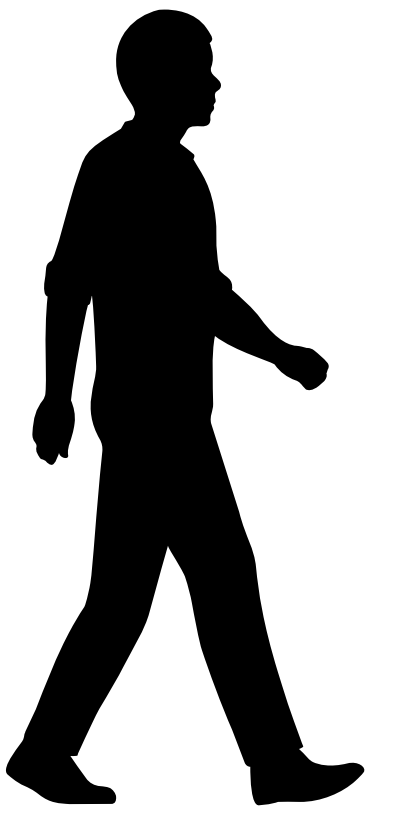
今の自分に
満足できますか？

1年・3年・5年

未来の自分に
満足できますか？

道標：目標

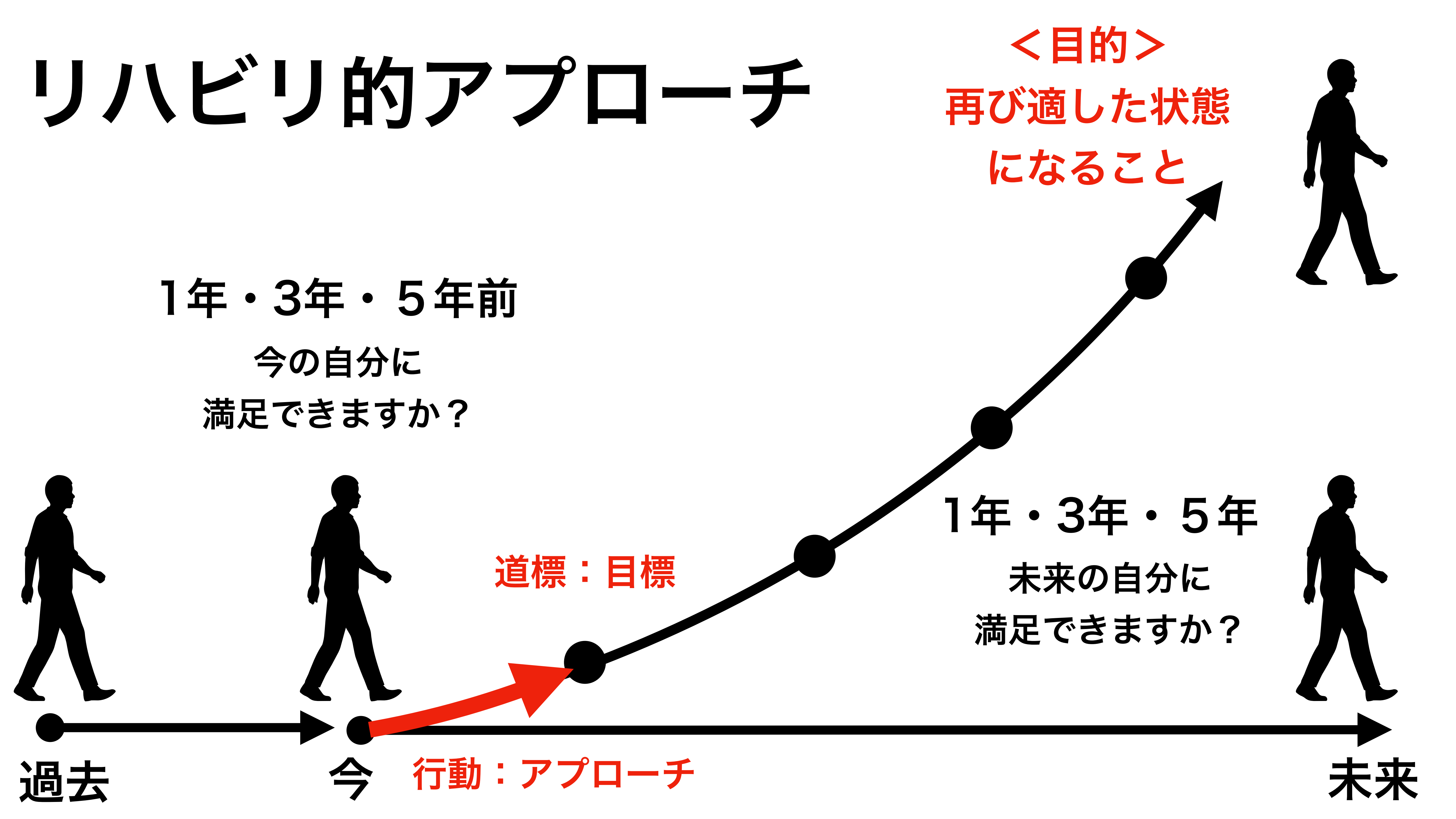
行動：アプローチ



過去

今

未来



再び適した状態に必要なことは？

再び適した状態に必要なことは？

『出来ていることと出来ていないこと』の理解

どうやって出来ることと

出来ないことが分かりますか？

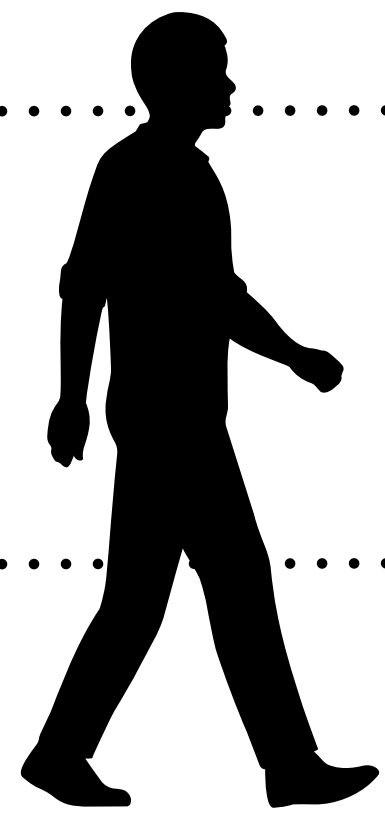
目標達成

『評価：アセスメント』

STEP③

STEP②

STEP①



評価：アセスメントとは？

評価：アセスメントとは？

アセスメントとは：人やものごとを客観的に評価・分析すること

客観的とは：特定の立場にとらわれず、物事を見たり考えたりするさま

分析とは？：物事をいくつかの要素に分け、その要素・成分・構成などを細かい点まではっきりさせること。

評価は、客観的に評価チャートをとることではなく
分析して統合と解釈までをアセスメントいう

目標達成のための評価とは？

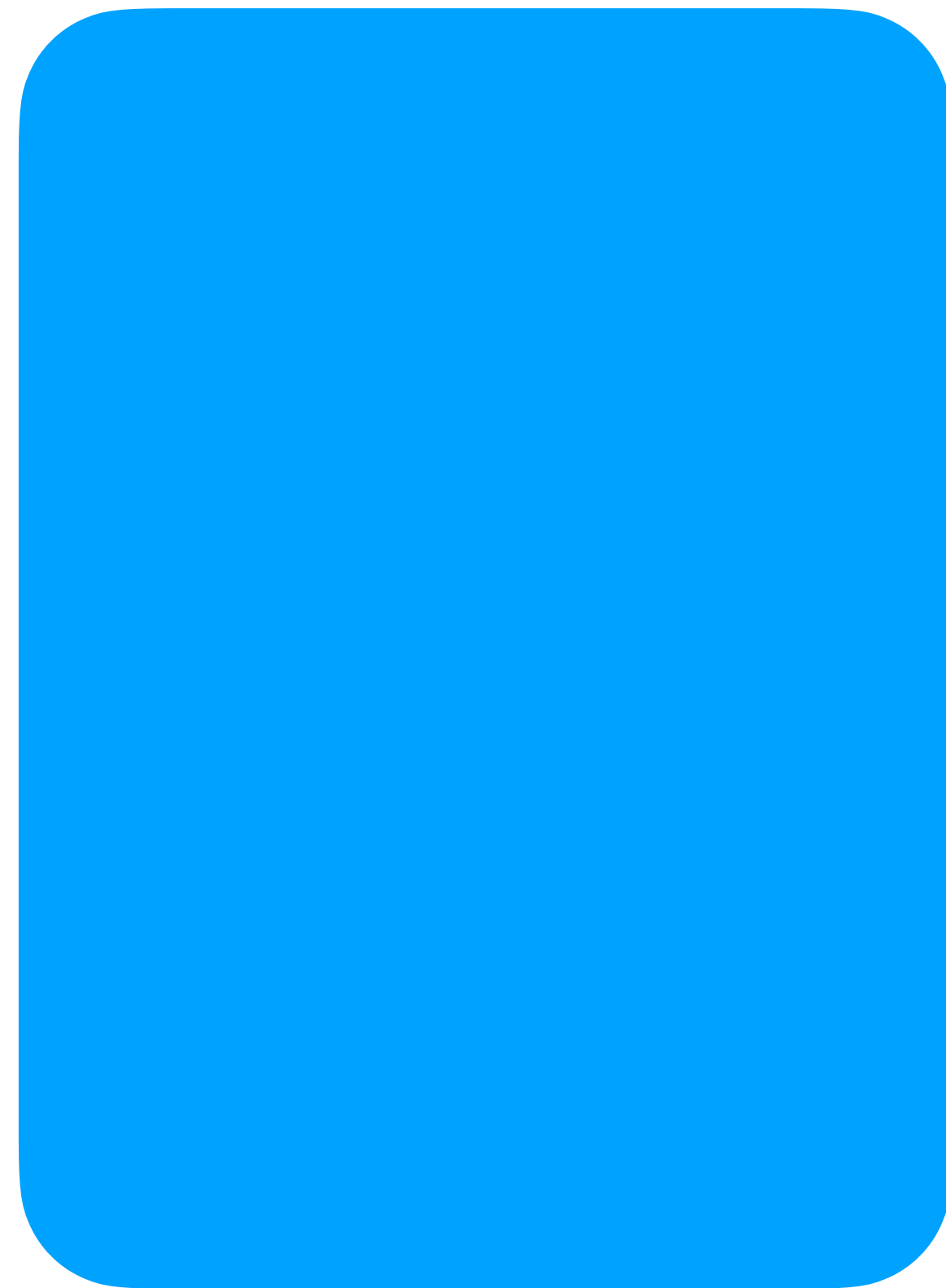
- ① 目的設定
- ② 目標設定（要素分解）
- ③ 目標達成のための構成要素出し
- ④ 評価：アセスメント
- ⑤ 出来ないこと、出来ていることのリストアップ

食事獲得のための評価とは？

食事獲得のための評価とは？

健康状態：脳卒中

身体機能



運動

活動



動作

参加



行為

食事獲得のための評価とは？

機能評価

動作分析

なぜリーチができないのか？

運動麻痺
異常筋緊張
感覚障害
可動域制限
失調
バランス障害
高次脳機能障害

身体機能

何を見るのか？

<物品操作>

右手・左手・両手

右手：リーチ（伸展）

左手：物品把持

両手：両手操作

<口へ運ぶ>

物品と頸部の関係性

右手：リーチ（屈曲）

頸部：身体と物品の調和

運動

活動

<基本動作>

臥位・座位・起き上り

<移動動作>

座位・立ち上り・立位

移乗・車椅子or歩行

<食事動作>

物品操作

口へ運ぶ

<摂食嚥下動作>

先行期・準備期

口腔期・咽頭期

動作

参加

食堂で
(リビング)
ご飯を食べる

食事とは人間が生命を維持し、活動するために摂取する食品、およびそれらを調製する方法、飲食する際のしきたりなど、食生活の行為の総体をいう

行為

食事獲得のための評価とは？

Gole

食事獲得のための評価とは？

Gole

何食べる？
あれ食べたい
あそこ行きたい
誰と一緒に行く

どうすれば
スタートの患者様は
ゴールに行くことができますか？

Start

飲み込める
誤嚥しない
消化・吸収

嚥下

楽しみ

味

見た目

コミュニ

ケーション

文化

作法

Part 1

摂食動作を中心に

食事の獲得 を目的に

ひとりの患者様を通して
見る視点→評価→統合と解釈→治療方法
一連の流れを徹底的に教えるセミナー

脳外臨床研究会 会長

山本 秀一郎

食事はどのように獲得されるか？

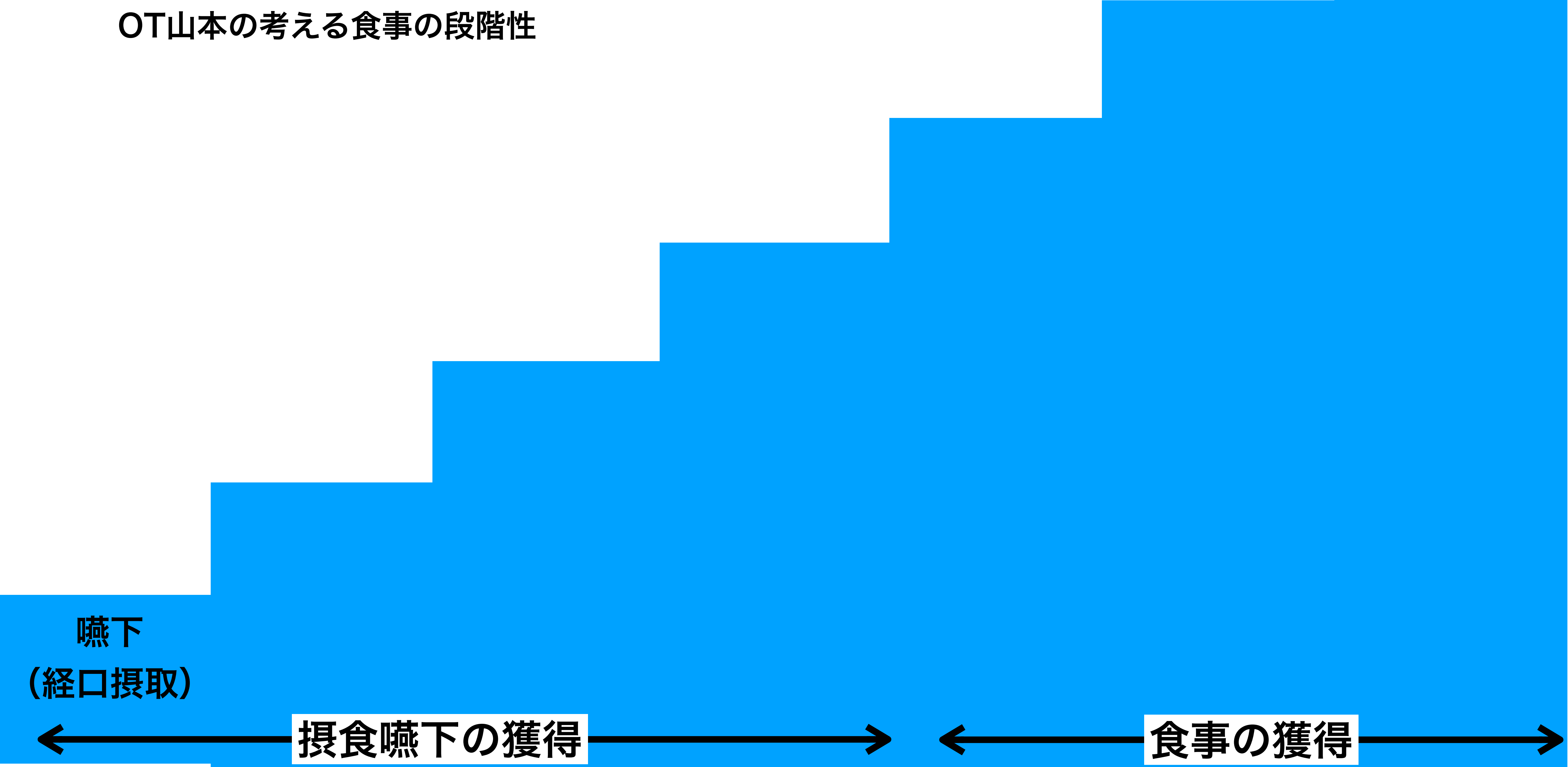
会話や
作法・楽しみ

OT山本の考える食事の段階性

嚥下
(経口摂取)

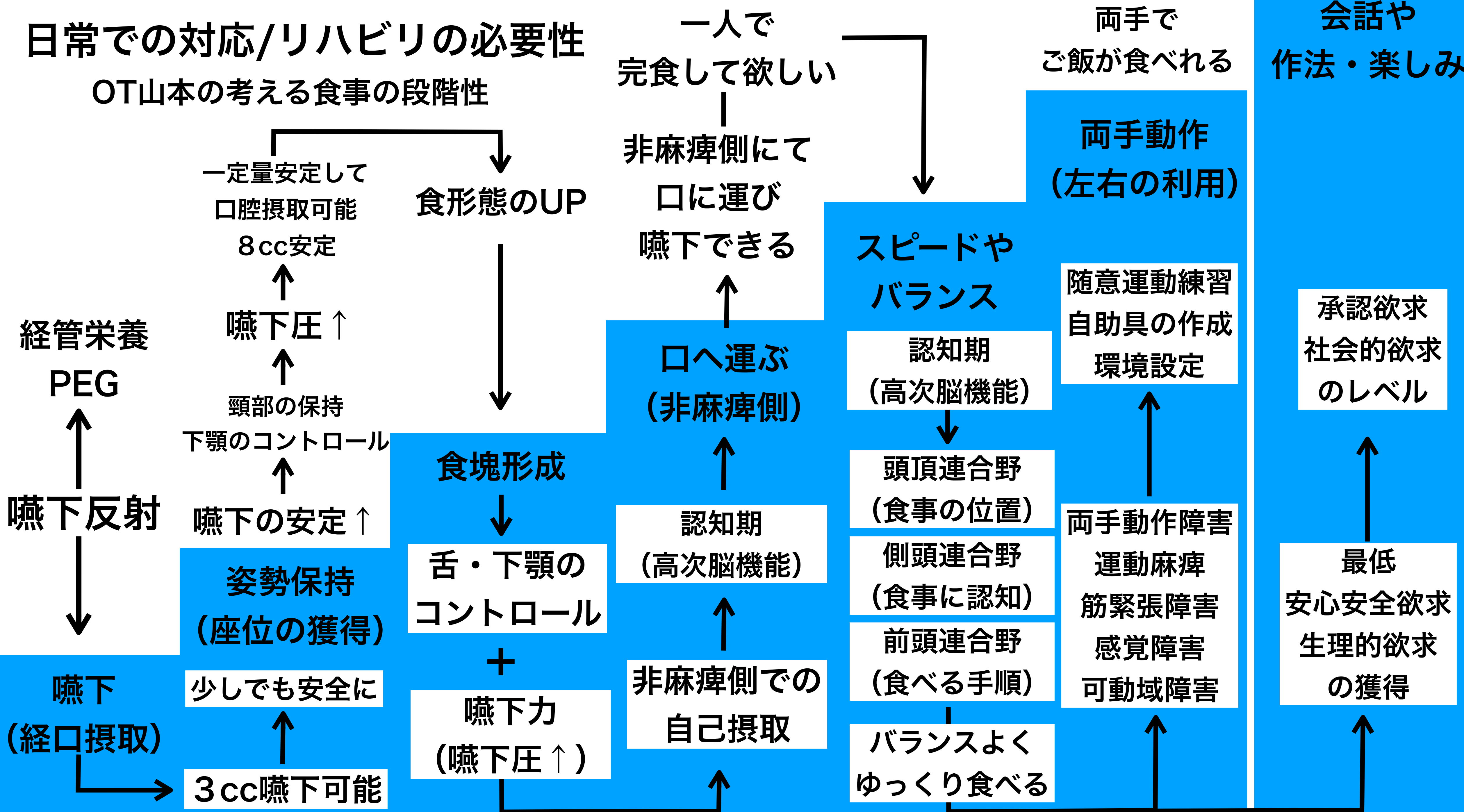
摂食嚥下の獲得

食事の獲得



日常での対応/リハビリの必要性

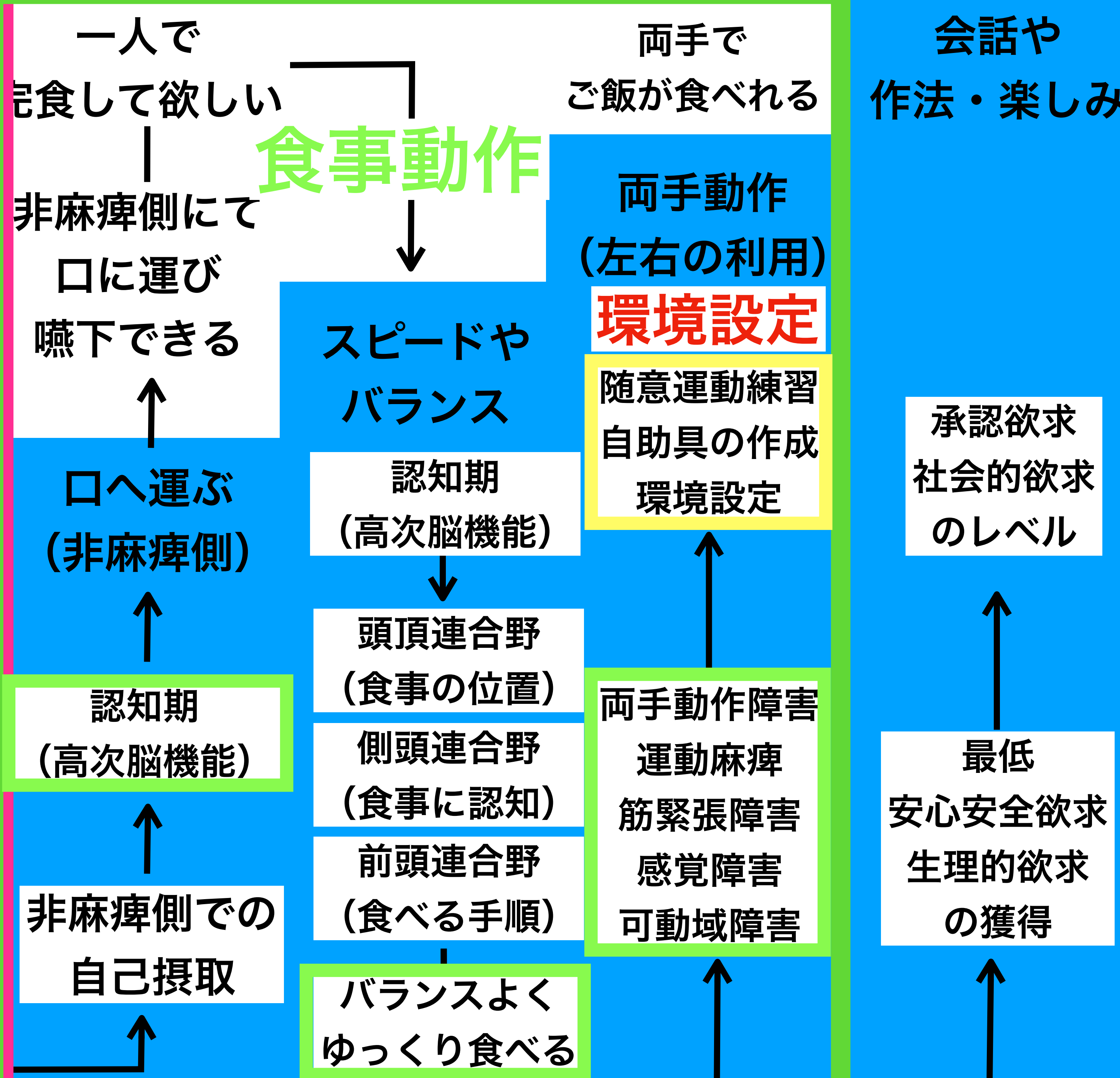
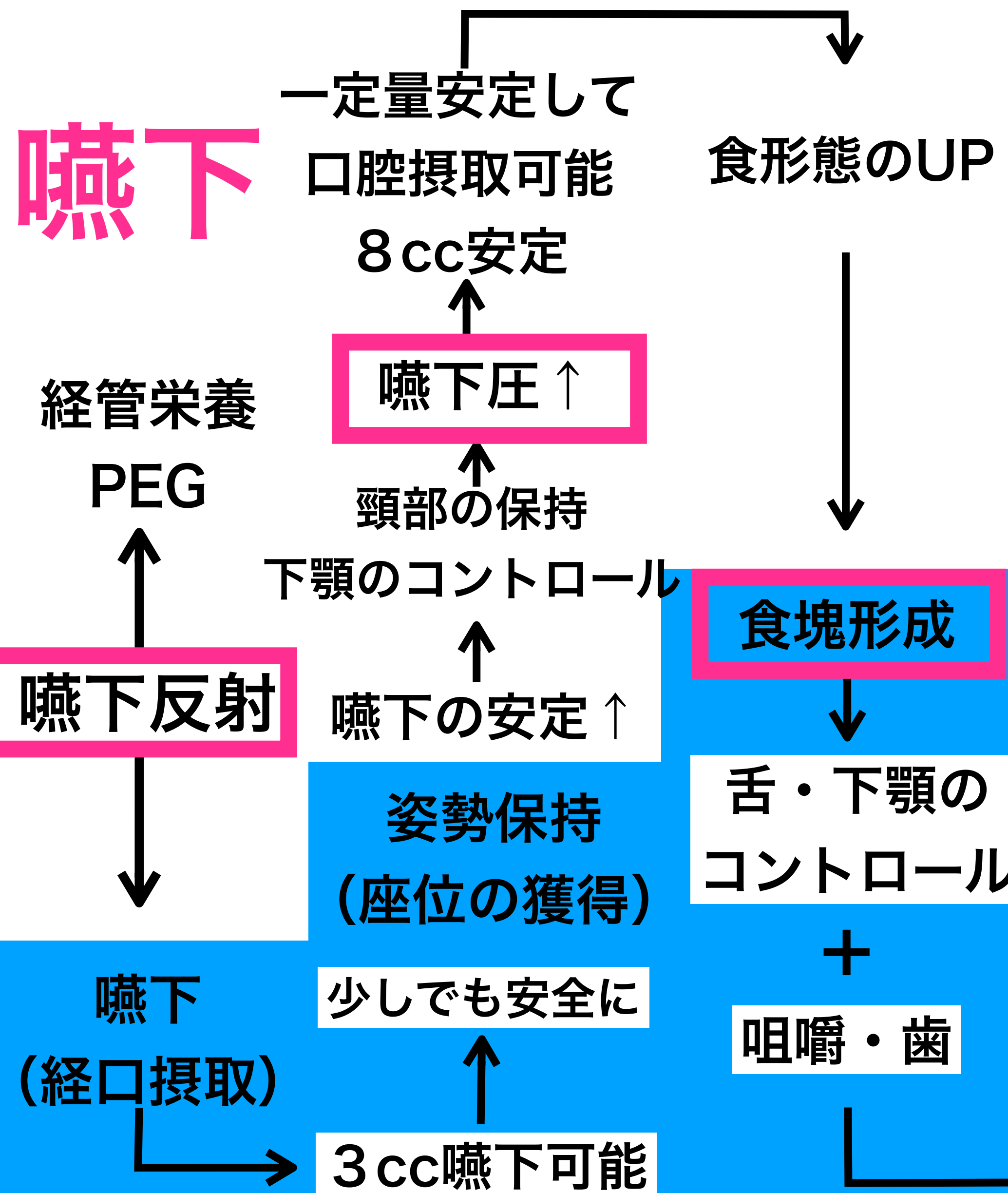
OT山本の考える食事の段階性



日常での対応/リハビリの必要性

OT山本の考える食事の段階性

嚥下



アプローチのための評価・動作分析とは？

アプローチのための評価・動作分析とは？

動作の要素を出すこと

作業療法士が考える臨床でしか使えない脳画像

被殻出血の脳画像から

食事を考える

～脳画像から食事を考察する～

ZOOMセミナー

日時 : 2022年2月26日 (土)

20:00~22:00

参加費 : 3000円



脳外臨床大学校
作業療法士 山本秀一郎

作業療法士が考える臨床でしか使えない脳画像

被殻出血と小脳出血の

移乗動作の違いとは

～脳画像から移乗を考察する～

ZOOMセミナー

日時 : 2022年3月26日 (土)
20:00~22:00

参加費 : 3000円



脳外臨床大学校
作業療法士 山本秀一朗

臨床と知識を繋ぐ
脳外臨床大学校

フルリカバリー ×オンラインサロン

～夢を語れる場所～

チャレンジして
失敗できる場所

@NDUGERINSYOU

患者様のことと
とにかく考えたい

先生でよかったと
言われたい！！

もっと語り
相談したい！！

フルリカバリーを
目指したい！！

治せるセラピスト
になりたい！！

説明できる様
になりたい！！

自分の夢を
叶えたい！！

同じ想いを持った人だけが
集まる場所



オンラインで繋がる場所

オンラインサロン

臨床と知識を繋ぐオンラインサロン

脳外臨床大学校

目的

脳卒中リハビリ難民ゼロ

患者様を幸せにし

自分達も幸せになる

そして

セラピストを憧れの職業に

脳外臨床大学校の

リハビリ理論は？

<現象ではなく、原因にアプローチ>

<原因>

脳神経が損傷



評価とアプローチは

脳

<現象>

手が勝手に曲がってくる
左側を忘れてしまう
姿勢が保持できない



脳外臨床大学校

何ができるの？



500本以上の
セミナー動画

月に4本以上の
LIVEセミナーに
無料参加

メンバー主催で
イベント開催

臨床と知識を繋ぐオンラインサロン

理解して現場で実践

①動画で学ぶ



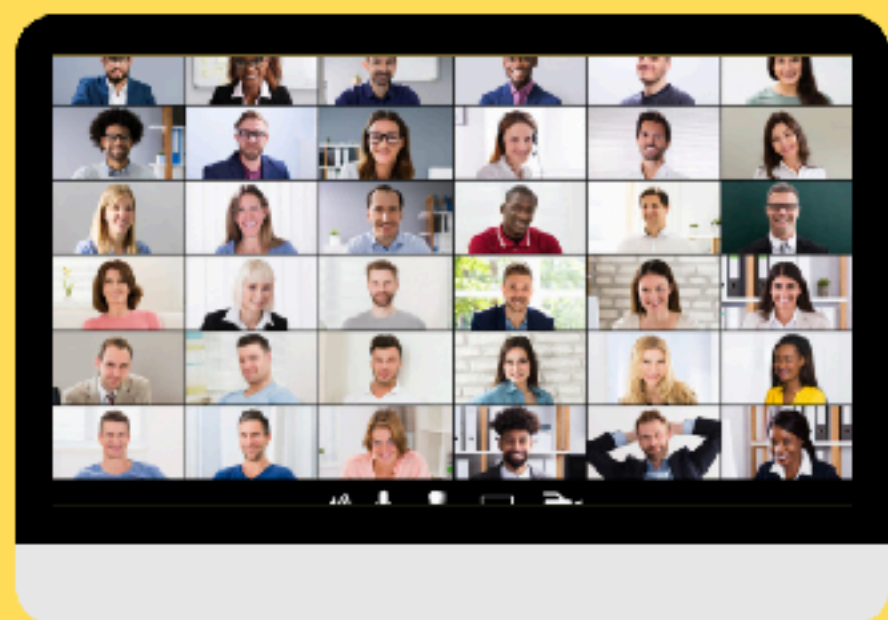
②現場で実践



④自分のものに



③ディスカッション



想↓いがあるから

学びがある

行動がある

結果が出る



臨床と知識を繋ぐ
オンラインサロン

脳外臨床大学